

## 平成 18 年度当初予算 重点プログラム別概要

### 絆 1 : 観光みえの魅力増進プログラム

( 主担当部 : 農水商工部 )

- ( 1 ) 「旅ごころ誘う三重奏」誘客戦略推進事業
- ( 2 ) 観光客誘客推進事業
- ( 3 ) 観光商品づくり推進事業
- ( 4 ) 外客誘致推進事業
- ( 5 ) 魅力ある観光地づくり支援事業
- ( 6 ) 三重の食パワーアップ 100 事業
- ( 7 ) 熊野古道特産品共同研究開発事業
- ( 8 ) 産業観光資源創造事業
- ( 9 ) 伊勢志摩快適空間創造事業
- ( 10 ) 松阪・東紀州地域交流空間創造事業
- ( 11 ) まちづくりプロジェクト事業
- ( 12 ) 三重の観光人材育成事業

< プログラムの事業費 >

( 単位 : 千円 )

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	3 か年計
当初計画	486,537	490,000	599,000	1,576,000 程度
見直し後	409,252	727,072 ( 67,000 )	732,643	1,868,967

注 : 「見直し後」の 16 年度は決算額、17 年度は予算現額、18 年度は当初予算額

17 年度 ( ) は、16 年度からの繰越額で予算現額の内数

< 事業目標 >

目標項目		平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
(1) 観光商品を企画する旅行会社数	目標値	/	8 社	8 社
	実績値		8 社	
(2) 観光ルートの提供件数 ( 累計 )	目標値	10 件	25 件	35 ( +10 ) 件
	実績値	22 件	32 件	
(3) 観光商品の提供件数 ( 累計 )	目標値	15 件	30 件	50 件
	実績値	22 件	37 件	
(4) 外客誘致プロモーション件数	目標値	5 件	5 件	5 件
	実績値	5 件	9 件	
(5) 魅力ある観光地づくり実施件数	目標値	/	8 地区	8 地区
	実績値		13 地区	
(6) 研修後改善された土産物数 ( 個 )	目標値	/	0 個	100 個
	実績値		0 個	
(7) 産学官が連携し生まれた技術を活かした製品の提供件数	目標値	/	2 件	6 件
	実績値		2 件	

目標項目		平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
(8)産業観光の事業化数(累計)	目標値		2 件	3 件
	実績値		2 件	
(9)整備計画に基づく取組内容 着手率	目標値	55%	70%	70%
	実績値	66%	71%	
(10)整備着手地区数	目標値		2 地区	4 地区
	実績値		7 地区	
(11)整備地区数	目標値	2 地区	3 地区	3 地区
	実績値	2 地区	4 地区	
(12)観光地マネージャーの育成 人数(累計)	目標値		20 人	20 人
	実績値		20 人	

注：17 年度実績値は 1 月末現在で把握できる見込み値

(2)平成 17 年度の取組状況を踏まえ、平成 18 年度の目標値を上方修正しました。

< 進捗状況（現状と課題） >

- ・ 平成 16 年の観光レクリエーション入込客数（推計）は 4,396 万人となっており、平成 14 年と比較すると、111 万人（2.6%）増加しています。
- ・ 平成 16 年 11 月に策定した「三重県観光振興プラン」の着実な推進を図っており、伊勢神宮の式年遷宮の始まりを契機とした伊勢志摩キャンペーンの展開や、首都圏への情報発信手法の構築、東アジアをターゲットとした外国人観光客の誘客などの情報発信・誘客の取組を進めるとともに、観光地づくりに意欲的な地域の取組への支援や、地域資源を活用した観光商品づくり、地域住民と行政との連携による快適な交流空間づくりなどの観光地の魅力づくりに取り組んできています。
- ・ 平成 16 年の熊野古道（伊勢路）の世界遺産登録に加え、平成 25 年に向けた伊勢神宮の式年遷宮が平成 17 年から始まり、本県がますます注目を集めるとともに、中部国際空港の開港や、中国全土への団体観光ビザの発給条件の緩和などの環境変化もあり、国内外からの観光客を本県に誘客するチャンスが高まってきていることから、このような状況を的確にとらえ、県内各地域が持っているその魅力をさらに向上させ、情報発信し、誘客につなげていくことが必要です。

< 平成 18 年度の取組方向 >

- ・ 「三重県観光振興プラン」の着実な推進を図り、新しいツーリズムに着実に対応していくこと、観光産業を付加価値の高い地域産業へと育成していくこと、多様な主体が観光推進に参画していくこと、の 3 つの「観光構造の変革」を地域の取組と連携して進めます。
- ・ そのため、観光地づくり支援や観光商品づくり等により観光地の魅力づくりをさらに促進していくとともに、その成果も十分に活かし、国内外に向けて情報発信・誘客活動を積極的に進めていきます。さらに、観光客の声を観光地の魅力づくりに反映す

るようにし、「観光地の魅力づくり」「情報発信」「誘客活動」の取組が有機的に結びつく仕組みの定着を図っていきます。

< 主な事業 >

「旅ごころ誘う三重奏」誘客戦略推進事業【18年度当初予算額 87,391 千円】

本県の観光イメージの一つである食をテーマにした誘客企画の実施、首都圏等への情報発信の充実などにより、全国から誘客できる観光地を目指します。

観光商品づくり推進事業【18年度当初予算額 35,492 千円】

観光資源の発掘から観光商品の販売まで一貫した取組を進め、地域の観光資源を活用した多様な商品づくりを行い、多くの観光客が本県を訪れるようにします。

外客誘致推進事業【18年度当初予算額 46,051 千円】

本県へ外国人観光客を誘客するため、今後の訪日客の増加が予想される東アジア地域を主ターゲットに各種のプロモーションや誘客活動を展開します。

魅力ある観光地づくり支援事業【18年度当初予算額 30,421 千円】

首都圏等全国から誘客できる魅力的な観光地を目指し、地域資源の発掘・活用や散策ルートの設定など地域が取り組む魅力ある観光地づくりを支援します。

三重の食パワーアップ100事業【18年度当初予算額 38,000 千円】

本県観光の重要な要素である「食」に関して、「本物」の三重の食づくりに取り組み、「食べ物」の商品力を強化しようとする食品関連事業者に対し、マーケティングの観点から商品のブラッシュアップ戦略を策定する研修を実施し、改善された商品が観光客に提供できるようにします。

松阪・東紀州地域交流空間創造事業【18年度当初予算額 4,408 千円】

歴史と文化を活かしたまちづくりを目指している松阪市や「熊野古道」が世界遺産登録された東紀州地域において、それぞれの地域資源を利活用した景観や街並みを創造していくため、平成16年度に策定した「交流空間整備計画」をもとに、地域住民や市町との協働により交流空間づくりを実践します。

まちづくりプロジェクト事業【18年度当初予算額 470,000 千円】

景観づくりや街並みづくりに寄与する社会資本整備として、地域住民や市町との協働により策定した計画に基づき、県道などの県有施設について、自然や歴史・文化など地域資源を活かした修景整備を実施します。

